

## 八丈高等学校令和3年度 総合的な学習の時間進路総合年間授業計画

教科：総合的な学習の時間 科目：進路総合 単位数：1単位

対象学年組：第3学年A・B・EK組

教科担当者：進路指導部

使用教科書：大学、専門、就職の担当者が教材を準備

使用教材：大学、専門、就職の担当者が教材を準備

	指導内容	進路総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法 家庭で学習すること 学校で学習すること	配当時数
4月	進路希望の確認と計画	各自の進路希望分野別に計画を立てる 共通スケジュールと個別スケジュールの把握	出欠状況と取り組みの姿勢・意欲を参考とする。	4
5月	受験方法と内容の確認と調査研究	文書・書籍・インターネットでの学習 就職は高卒求人検索の方法を学ぶ	出欠状況と取り組みの姿勢・意欲を参考とする。	4
6月	面接対策1	八丈島の主要産業について学ぶ 基本動作・話法の徹底	出欠状況と取り組みの姿勢・意欲を参考とする。	5
7月	受験先の見学・体験入学等の準備	質問事項・交通経路・持参書類等の準備、志望動機作成 就職は高卒求人票検索と整理	出欠状況と取り組みの姿勢・意欲を参考とする。	5

8月				0
9月	面接対策2	個別・グループ面接練習、グループディスカッション練習 選考内容に応じた指導	出欠状況と取り組みの姿勢・意欲を参考とする。	5
10月	個別対応1	進路分野別の個別学習 各自の進路活動状況に応じたサポート	出欠状況と取り組みの姿勢・意欲を参考とする。	4
11月	個別対応2	進路分野別の個別学習 各自の進路活動状況に応じたサポート	出欠状況と取り組みの姿勢・意欲を参考とする。	4
12月	個別対応3	進路分野別の個別学習 各自の進路活動状況に応じたサポート	出欠状況と取り組みの姿勢・意欲を参考とする。	4

1 月	社会人としてのマナーの習得 1	電話の応対、敬語、基本的な挨拶・礼儀作法の実習 実践的知識の習得	出欠状況と取り組みの姿勢・意欲を参考とする。	3
2 月	社会人としてのマナーの習得 2	電話の応対、敬語、基本的な挨拶・礼儀作法の実習 実践的知識の習得	出欠状況と取り組みの姿勢・意欲を参考とする。	4
3 月	社会人としてのマナーの習得 3	電話の応対、敬語、基本的な挨拶・礼儀作法の実習 実践的知識の習得	出欠状況と取り組みの姿勢・意欲を参考とする。	3

### 八丈高等学校令和3年度 総合的な学習の時間八文学Ⅱ年間授業計画

教 科：総合的な学習の時間 科 目：八文学Ⅱ 単位数：1単位  
 対象学年組： 第2学年A組B組  
 教科担当者：加藤玲奈・木村喜尚・高岡達弥 鈴木陽子・金子遼太郎  
 使用教科書：  
 使用教材：一生使える探究のコツ 実践の手引き～課題研究編～（トモノカイ）

	指導内容	八文学Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法 家庭で学習すること 学校で学習すること	配当時 数
4月	○授業の流れを知る。	○3年間の流れを確認する。 ○昨年度の内容を思い出し、今年度の自分の目標を考える。 ○今年度の授業の流れと、自分のやることについて見通しを持つ。 ○『気づく→深める→伝える』の探究の技能について学ぶ。	・プリント ・授業態度	4
5月	【課題1】八丈町の課題について、解決策を考えることで探究の技能を身に付ける。	○前年度の先輩の課題から、自分たちの課題を考える。 ○どのような課題が「探究」にふさわしいのか考えながら、課題を設定する。【気づく】	・プリント ・授業態度	4
6月	【課題1】八丈町の課題について、解決策を考えることで探究の技能を身に付ける。	○設定した課題について、調べたり、考えたりしながら調査を進める。【深める】 《具体的な授業展開》 ・フィールドワークに行く ・インタビューを行う ・アンケートを行う ・資料や先行論文を探す 等	・プリント ・授業態度	4
7月	【課題1】八丈町の課題について、解決策を考えることで探究の技能を身に付ける。	○課題について、調べたことをまとめる。【伝える】	・プリント ・授業態度	5

8月				0
9月	【課題1】八丈町の課題について、解決策を考えることで探究の技能を身に付ける。	○まとめたものを発表する。【伝える】	・プリント ・授業態度	5
10月	【課題2】個人研究をする。	○自分のこれまでの生き方や学習を振り返る。 ○自分の興味関心や進路と向き合い、研究テーマを設定する。 ○課題1の成果を受けて、個人的な研究の課題を設定する。【気づく】	・プリント ・授業態度	4
11月	【課題2】個人研究をする。	○設定した課題について、調べたり、考えたりしながら調査を進める。【深める】 《具体的な授業展開》 ・フィールドワークに行く ・インタビューを行う ・アンケートを行う ・資料や先行論文を探す 等	・プリント ・授業態度	4
12月	【課題1】八丈町の課題について、解決策を考えることで探究の技能を身に付ける。	○【課題1】で作成した解決策について発表する。 ○島民会議で課題について島の大人との話し合いを通して社会について考える。【伝える】	・プリント ・授業態度	3

1月	【課題2】個人研究をする。	○設定した課題について、調べたり、考えたりしながら調査を進める。【深める】 《具体的な授業展開》 ・フィールドワークに行く ・インタビューを行う ・アンケートを行う ・資料や先行論文を探す 等	・プリント ・授業態度	4
2月	【課題2】個人研究をする。	○設定した課題について、調べたり、考えたりしながら調査を進める。【深める】 《具体的な授業展開》 ・フィールドワークに行く ・インタビューを行う ・アンケートを行う ・資料や先行論文を探す 等	・プリント ・授業態度	4
3月	○1年間のまとめをする。	1年間学んだことをまとめる。 来年度について見通しを持つ。	・プリント ・授業態度	3

八丈高等学校令和3年度 学校設定教科八文学 I 年間授業計画

教科：学校設定教科 科目：八文学 I 単位数：1単位  
 対象学年組：第1学年A組B組  
 教科担当者：高橋京平 田崎公理  
 使用教科書：  
 使用教材：授業プリント

	指導内容	八文学 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法 家庭で学習すること 学校で学習すること	配当 時数
4月	『八文学の3年間の流れを知る』 『自分と向き合う』 『これまでの地域学習の振り返りをする』 『他者の考えを知る』	○八文学の3年間の流れをパワーポイントを通じて指導をする。 3年間の流れが理解できる。 八文学の在り方や目標を理解できる。 ○今までの自分の振り返り、本授業を通して高校生活の見通しを持たせる。 ・今の自分の興味関心をまとめて授業との関連性や進路について考えるきっかけにする。 ○中学校までで行って来た地域学習をまとめて、中学校同士で共有することで八丈に関する知識を共有する。 ○本授業での自分の目標を考え、それを他の生徒に発表し合うことを通して他者の考えを知る。	○本授業の全体的な流れを理解できているか。《授業態度・プリントの評価》 ○自分と向き合い、これからの自分について考えることができたか。《授業態度・プリントの評価》 ○これまでの地域学習の振り返りができたか。《授業態度・プリント評価》 ○積極的に発表し合うことができたか。《授業態度・プリントの評価》 【家庭学習】本授業	4
5月	『八文学の1年間の流れを知る』 八丈の基礎①『八丈の自然について』	○八文学の1年間の流れを、パワーポイントを通じて指導をする。 1年間の授業内容が理解できる。 1年間の見通しを持つことができる。 ○ビクターセンターのガイドウォークに参加して、八丈の自然を体験する。 ○ビクターセンター所長の話から、八丈の地理や自然の基礎的な知識を知る。 八丈島の自然のもつ課題について触れる。	○1年間の見通しをもつことができたか。《授業態度・プリントの評価》 ○八丈の自然について固有性や価値を知ることができたか。《授業態度・プリントの評価》 【家庭学習】本授業を補充できるようなプリントを配布し、動画を配信することで授業の代替とした。	4
6月	『八文学の1年間の流れを知る』 八丈の基礎①『八丈の自然について』 八丈の基礎②『八丈の歴史について』 八丈の基礎③『八丈の文化産業について』	○八文学の1年間の流れを、パワーポイントを通じて指導をする。 1年間の授業内容が理解できる。 1年間の見通しを持つことができる。 ○八丈の歴史について、本学校の教員から基礎的な知識を知る。 確認の小テストを行い、知識の定着を図る。 ○八丈町教育委員会の方から「八丈ことば」についての基礎的な知識を得る。 ○「黄八丈」について知ることを通して、八丈島の文化について考える。	八丈の歴史についての流れを理解することができたか。《授業態度・小テストプリントの評価》	4
7月	振り返り①『1学期の振り返りを行う』 振り返り②『2学期の見通しをもつ』 1学期の総括	○1学期に学んだことをまとめる。 ○感想やわかったこと、もっと知りたいことなど考えて、生徒同士で共有する。 ○2学期から作成をするフェノロジーカレンダーについて知る。 夏休みの課題の準備を行う。 ○1学期に学んだことを発表する。 他学年やコンソーシアム、運営指導委員会の方を招いて交流や評価を行う。	1学期の振り返りをすることができたか。《授業態度・プリントの評価》 2学期の授業の見通しをもつことができたか。《授業態度・プリントの評価》	5

8月				0
9月	1学期の総括 『夏期課題の確認』 『文化祭発表の準備をする』	○1学期に学んだことを発表する。 他学年やコンソーシアム、運営指導員会の方を招いて交流や評価を行う。 ○夏期課題の内容を確認して、授業で調べてきたことを共有する。 ○夏期課題の自己評価を行い、課題を完成させる。 ○夏期課題をまとめて文化祭で発表する準備を行う。 ○発表のリハーサルを行う。	1学期の内容を踏まえて夏期課題を行うことができたか。《授業態度・プリント課題》 文化祭の発表に向けて準備に参加できたか。《授業態度》	5
10月	『八丈太鼓について知る』 フェノロジーカレンダー『フェノロジーカレンダーについて知る』 フェノロジーカレンダー『フェノロジーカレンダー作成の計画』	○八丈島の伝統文化の八丈太鼓について、「よされ会」の方を招いてその在り方を知る。 ○フェノロジーカレンダーとはどのようなものかを知る 他の地域のフェノロジーカレンダーを見ながら作成の見通しを立てる。 ○どのようなフェノロジーカレンダーを創るのか検討をする。	八丈太鼓の個性や価値を知ることができたか。《授業態度・プリントの評価》 フェノロジーカレンダーについて知ることができたか。《授業態度・プリントの評価》 フェノロジーカレンダーの作成に積極的に関わることができたか。《授業態度・プリントの評価》	4
11月	フェノロジーカレンダー『作成①』 フェノロジーカレンダー『作成②』	○フェノロジーカレンダーの材料を集める。 集めた情報を集約しながらカレンダーの作成を始める。 ○フェノロジーカレンダーを作り込む。 絵や図を入れながら作成を進める。	フェノロジーカレンダーの作成に積極的に関わることができたか。《授業態度・プリント・作品の評価》	4
12月	フェノロジーカレンダー『説明の準備』	○フェノロジーカレンダーを紹介するための準備を行う。	フェノロジーカレンダーの紹介について積極的に関わることができたか。《授業態度・プリントの評価》	3



1月	フェノロジーカレンダー『改善』 フェノロジーカレンダー『発表①』	○発表会の内容を受けて、フェノロジーカレンダーを改善する。 説明の方法なども工夫をする。 ○島内の小学校や、中学校。島外の小学校や、中学校に対してフェノロジーカレンダーを用いて八丈についての発表を行う。	作成したフェノロジーをさらに良いものにすることができたか。《授業態度・プリント・作品の評価》 前回の発表を改善してさらに良い発表をすることができたか。《授業評価・プリント・作品の評価》	4
2月	フェノロジーカレンダー『発表②』 今年度のまとめ	○「産業祭」参加のための準備を行う。 発表の他に、産業祭に参加している団体についても知ることによって八丈の産業に関する知識を身につける。 ○1年間の授業を通して考えたことやわかったことを振り返る。	産業祭参加の準備をすすめることができたか。《授業態度・プリントの評価》 1年間の授業を振り返ることができたか。《授業態度・プリントの評価》	4
3月	来年度に向けて 1年間の総括をする	○来年度の目標を確認する。 実際に課題に取り組むために自分が八丈のどのような課題に取り組んでいくのかを考える。 ○1年間の授業についてまとめ、発表する。 発表にはコンソーシアムや運営指導委員会の方を招いて評価を行い、来年度の活動についての見通しを持つ	来年度の見通しをもつことができたか。《授業態度・プリントの評価》 1年間の振り返ることができたか。《授業態度・プリントの評価》	3